

## ◀2012年 岡山大学(前期)▶

## ♠ 理系学部

**1**  $O$  を原点とする座標平面における曲線  $C: \frac{x^2}{4} + y^2 = 1$  上に, 点  $P\left(1, \frac{\sqrt{3}}{2}\right)$  をとる.

- (1)  $C$  の接線で直線  $OP$  に平行なものをすべて求めよ.
- (2) 点  $Q$  が  $C$  上を動くとき,  $\triangle OPQ$  の面積の最大値と, 最大値を与える  $Q$  の座標をすべて求めよ.

**2** 表の出る確率が  $p$ , 裏の出る確率が  $q$  である硬貨を用意する. ここで  $p, q$  は正の定数で,  $p + q = 1$  を満たすとする. 座標平面における領域  $D$  を

$$D = \{(x, y) \mid 0 \leq x \leq 2, 0 \leq y \leq 2\}$$

とし,  $D$  上を動く点  $Q$  を考える.  $Q$  は点  $(0, 0)$  から出発し, 硬貨を投げて表が出れば  $x$  軸方向に  $+1$  だけ進み, 裏が出れば  $y$  軸方向に  $+1$  だけ進む. なお, この規則で  $D$  上を進めないときには, その回はその点にとどまるものとする. このとき以下の問いに答えよ.

- (1) 硬貨を 4 回投げて  $Q$  が点  $(2, 2)$  に到達する確率  $P_4$  を求めよ.
- (2) 硬貨を 5 回投げて 5 回目に初めて  $Q$  が点  $(2, 2)$  に到達する確率  $P_5$  を求めよ.
- (3)  $P_5 = \frac{1}{9}$  のとき,  $p$  の値を求めよ.

**3**  $a$  を正の定数とし, 座標平面上の 2 曲線  $C_1: y = e^{x^2}$ ,  $C_2: y = ax^2$  を考える. このとき以下の問いに答えよ. ただし必要ならば  $\lim_{t \rightarrow +\infty} \frac{e^t}{t} = +\infty$  であることを用いてもよい.

- (1)  $t > 0$  の範囲で, 関数  $f(t) = \frac{e^t}{t}$  の最小値を求めよ.
- (2) 2 曲線  $C_1, C_2$  の共有点の個数を求めよ.
- (3)  $C_1, C_2$  の共有点の個数が 2 のとき, これらの 2 曲線で囲まれた領域を  $y$  軸のまわりに 1 回転させてできる立体の体積を求めよ.

**4**  $f(x) = 4x(1-x)$  とする. このとき

$$\begin{cases} f_1(x) = f(x), \\ f_{n+1}(x) = f_n(f(x)) \quad (n = 1, 2, \dots) \end{cases}$$

によって定まる多項式  $f_n(x)$  について以下の問いに答えよ.

- (1) 方程式  $f_2(x) = 0$  を解け.
- (2)  $0 \leq t < 1$  を満たす定数  $t$  に対し, 方程式  $f(x) = t$  の解を  $\alpha(t), \beta(t)$  とする.  $c$  が  $0 \leq c < 1$  かつ  $f_n(c) = 0$  を満たすとき,  $\alpha(c), \beta(c)$  は  $f_{n+1}(x) = 0$  の解であることを示せ.
- (3)  $0 \leq x \leq 1$  の範囲での方程式  $f_n(x) = 0$  の異なる解の個数を  $S_n$  とする. このとき  $S_{n+1}$  を  $S_n$  で表し, 一般項  $S_n$  を求めよ.

## ♠ 文系学部

**1**  $a$  を正の定数とし,  $x, y$  に関する次の不等式を考える.

$$3y \geq 5x \quad \dots\dots \text{①}$$

$$4y \geq 7a \quad \dots\dots \text{②}$$

$$x - y \geq 3 - a \quad \dots\dots \text{③}$$

- (1) ①, ② を同時に満たす  $(x, y)$  のなす領域を  $xy$  平面上に図示せよ .  
 (2) ①, ②, ③ を同時に満たす実数の組  $(x, y)$  が存在するような  $a$  の範囲を求めよ .

**2** 正  $n$  角形の頂点を  $A_0, A_1, \dots, A_{n-1}$  とする . 頂点  $A_1, A_2, \dots, A_{n-1}$  から 2 点を取り , それらと  $A_0$  を頂点とする三角形を作る . このようにして得られる三角形の総数を  $a_n$  , そのうちの二等辺三角形の総数を  $b_n$  とする . ただし正三角形は二等辺三角形とみなす . このとき以下の問いに答えよ .

- (1)  $a_6$  および  $b_6$  を求めよ .  
 (2) 整数  $m \geq 3$  に対し ,  $S = \sum_{k=3}^m a_k$  を求めよ .  
 (3)  $b_9$  を求めよ .

**3** 四角形 ABCD は平行四辺形ではないとし , 辺 AB, BC, CD, DA の中点をそれぞれ P, Q, R, S とする .

- (1) 線分 PR の中点 K と線分 QS の中点 L は一致することを示せ .  
 (2) 線分 AC の中点 M と線分 BD の中点 N を結ぶ直線は点 K を通ることを示せ .

**4**  $0 \leq a \leq 1$  に対して

$$f(a) = \int_0^1 |(x-a)(x-3+a)| dx$$

と定める .  $f(a)$  の最大値と最小値を求めよ .

### 出題範囲と難易度

#### ♣ 理系学部

- 1** 標準  C いろいろな曲線  
**2** 標準  A 確率  
**3** 標準  III 微分法の応用・積分法の応用  
**4** 標準  III 合成関数・ B 数列

#### ♣ 文系学部

- 1** 基本  II 図形と方程式  
**2** 標準  A 場合の数・ B 数列  
**3** 基本  B ベクトル(平面)  
**4** 標準  II 微分積分

## 略解

## ◇ 理系学部

- 1** (1)  $y = \frac{\sqrt{3}}{2}x + 2, y = \frac{\sqrt{3}}{2}x - 2$   
 (2) 最大値 1,  $Q(-\sqrt{3}, \frac{1}{2})$  または  $Q(\sqrt{3}, -\frac{1}{2})$
- 2** (1)  $6p^2q^2$   
 (2)  $4p^2q^2$   
 (3)  $p = \frac{3 \pm \sqrt{3}}{6}$
- 3** (1) 最小値  $e$ , ( $t = 1$ )  
 (2)  $\begin{cases} 0 < a < e \text{ のとき} & 0 \text{ 個} \\ a = e \text{ のとき} & 2 \text{ 個} \\ a > e \text{ のとき} & 4 \text{ 個} \end{cases}$   
 (3)  $(\frac{e}{2} - 1)\pi$
- 4** (1)  $x = 0, \frac{1}{2}, 1$   
 (2) 証明は省略  
 (3)  $S_{n+1} = 2S_n - 1, S_n = 2^{n-1} + 1$

## ◇ 文系学部

- 1** (1) 右図斜線部分で境界線上の点を含む.  
 (2)  $a \geq 10$
- 2** (1)  $a_6 = 10, b_6 = 4$   
 (2)  $S = \frac{m(m-1)(m-2)}{6}$   
 (3)  $b_9 = 10$
- 3** (1) 証明は省略  
 (2) 証明は省略
- 4**  $\begin{cases} \text{最大値 } \frac{7}{6} & (a = 0) \\ \text{最小値 } \frac{1}{2} & (a = \frac{1}{2}) \end{cases}$

